

科目名	国際保健論 Global Health		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	mayumi.shimizu@mcn.ac.jp					
履修年次	3年次前期	科目区分	総合科目		選択区分	必修	単位数 (時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	人々の健康をグローバルな視点で捉え、健康問題・健康格差の背景や現状を理解し、格差は正への取り組みに対し、看護職として貢献するための基礎的な知識と態度を学ぶ。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。(知識・理解)										
	関連するDP	A 人々の生命と人間としての尊厳及び権利を尊重し、共感的に関わる姿勢を身につけている。(姿勢・態度) B 多様な考え方や様々な背景を持つ人々の特徴を理解するための、幅広い教養を身につけている。(知識・理解)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際保健・看護および国際協力の基本概念と必要性を説明できる。 2. 地球規模的な健康問題・健康格差とその関連要因を説明できる。 3. 地球規模的な健康問題・健康格差を改善するための国際協力諸機関の取り組みと国際保健・看護活動の展開について説明できる。 4. 国際保健・看護活動において、看護職に求められる資質や役割、多文化理解の必要性について説明できる。 											
成績評価方法 (基準)	試験(70%)、課題・授業参加態度(30%)											
再試験の有無と基準等	科目の合格判定で不合格となった場合は、再試験を実施する。再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題や出席状況は再試験の評価に加味しない。											
教科書	柳澤理子編著：国際看護学 看護の統合と実践（開発途上国への看護実践を踏まえて）、ピラールプレス											
参考書等	ユニセフ：世界子供白書（最新版） *ユニセフのホームページよりダウンロード可											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	グローバル化、新興感染症などにより、日本に暮らす私たちも他の国・地域で起こることと無関係でいることはできません。国際保健・看護の学びを通して、国際的な視点を得ることは、海外のみならず、国内の保健医療機関で働く上でも重要です。地球規模で考え(Think globally)、足元から行動(Act locally) できる看護職を目指してください。授業では、ペアによる話し合いやグループワークなどを採り入れますので、その結果を積極的に全体に共有してください。											
備考												
回	学習項目					学習内容					主担当教員	授業方法
1回	タイ王国・イギリスの保健医療看護					マヒドン大学・グラスゴー大学からの研修生の発表(英語)、国際看護実習I履修学生の報告からタイ王国・イギリスの保健医療・看護制度や健康課題について学ぶ。					清水	講義
2回	国際保健・看護を学ぶ意義、地球規模的な健康問題と健康格差の現状					国際保健・看護の概念と意義について学ぶ。地球規模的な健康問題と健康格差の現状および解決のための取り組みを学び、国際保健・看護の位置づけ、自分との関わりを考える。					清水	講義
3回	国際保健・看護の基盤となる考え方、国際協力のしくみ					人間の安全保障、プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション、ミレニアム開発目標、持続可能な開発目標について学ぶ。世界と日本の国際協力の組織および活動の実際を学ぶ。					清水	講義
4回	開発途上国における保健医療の現状 母子保健 I					演習を通して、開発途上国における女性の健康課題を学ぶ。					清水	演習
5回	開発途上国における保健医療の現状 母子保健 II 文化を考慮した看護					開発途上国における女性の健康課題とその対策を学ぶ。対象の社会・文化的背景を尊重した看護とその適切な看護の提供について考える。					清水	講義
6回	在留外国人の健康課題					三重県における外国人住民の現状・課題・支援の実際について学ぶ。看護職が使う言葉をやさしい日本語にするグループワークを行う。					学外協力者/ 清水	講義/ 演習
7回	開発途上国における保健医療の現状 小児保健、感染症					開発途上国における乳幼児の健康課題とその要因、世界の三大感染症について学ぶ。					清水	講義
8回	国際救援活動の実際と看護職の役割					災害の被害や被災民、紛争による難民に対する緊急支援や復興支援の現状と課題を学び、国際救援活動における看護職の役割を考える。					清水	講義

学 習 課 題

- 課題① 研修生、4年生の発表を聞き、タイ王国、スコットランドについての設問に解答する。
- 課題②(事前) 世界子供白書を用いて、カメルーン、日本、タイ王国、アフリカ大陸から1か国を選び、それぞれの保健指標を調べ、アセスメントを記述する。
- 課題③(事前) ある乳児の生と死—ラクの場合「ラクの物語」を読み、質問に対する回答を考え、記述する。
* 課題の記入用紙等は、「資料レポート管理システム」より各自ダウンロードすること

実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員は、看護職として国際協力の実務経験がある。国際保健・看護の教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。